

米国経済・金融概況 (2022年6月)

2022年6月17日

経営企画部経済調査室(ニューヨーク)

1. 企業活動

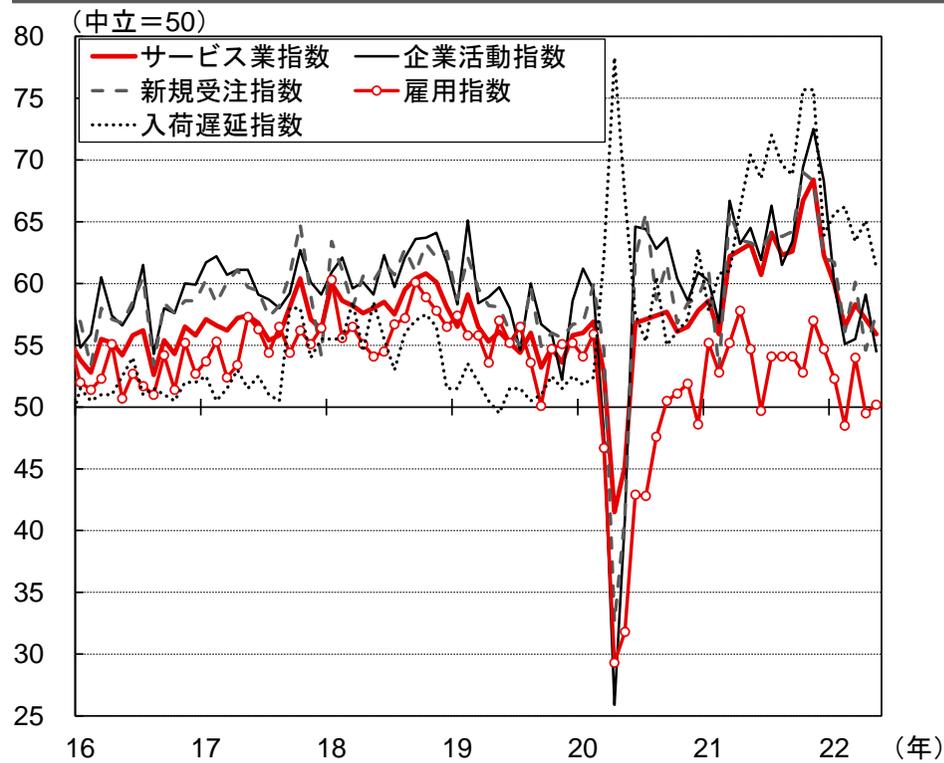
- 製造業の景況感・活動状況を表すISM製造業指数(総合指数)は、5月に56.1(前月比+0.7)と3カ月ぶりに上昇。指数の構成項目をみると、雇用指数(49.6、同▲1.3)、入荷遅延指数(65.7、同▲1.5)は低下した一方、新規受注指数(55.1、同+1.6)、生産指数(54.2、同+0.6)、在庫指数(55.9、同+4.3)は上昇。なお、総合指数は拡大と縮小の境目である50を24カ月連続で上回った。
- 5月のISMサービス業指数(総合指数)は55.9(前月比▲1.2)と2カ月連続で低下。指数の構成項目をみると、新規受注指数(57.6、同+3.0)、雇用指数(50.2、同+0.7)は上昇した一方、企業活動指数(54.5、同▲4.6)、入荷遅延指数(61.3、同▲3.8)は低下。総合指数は50を24カ月連続で上回った。
- 回答企業のコメントによると、供給制約が引き続き重要課題であるものの、コンピュータ・電子機器(製造業)、宿泊・飲食(サービス業)など一部産業は改善の兆しを指摘。

ISM製造業指数の推移



(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

ISMサービス業指数の推移



(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

2. 生産

- 5月の鉱工業生産は前月比+0.2%と前月(同+1.4%)から伸びが鈍化。産業別にみると、全体の7割以上を占める「製造業」(同▲0.1%)が減少。一方、「鉱業」(同+1.3%)はエネルギー価格上昇を受けた増産により増加。「公益事業(電力・ガス)」(同+1.0%)も気温上昇による冷房需要の高まりを受けて増加。5月の設備稼働率は79.0%と前月から0.1%ポイント上昇。
- 4月の耐久財受注は前月比+0.5%と2ヵ月連続で増加(3月:同+0.7%)。内訳をみると、機械(同+1.0%)、一次金属(同+0.8%)、輸送用機器(同+0.7%)など多くの業種が増加。また、設備投資の先行指標であるコア資本財受注(非国防資本財受注、除く航空機)も同+0.4%と2ヵ月連続で増加(3月:同+1.1%)。

鉱工業生産と設備稼働率の推移



(資料)FRB統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

耐久財受注の推移

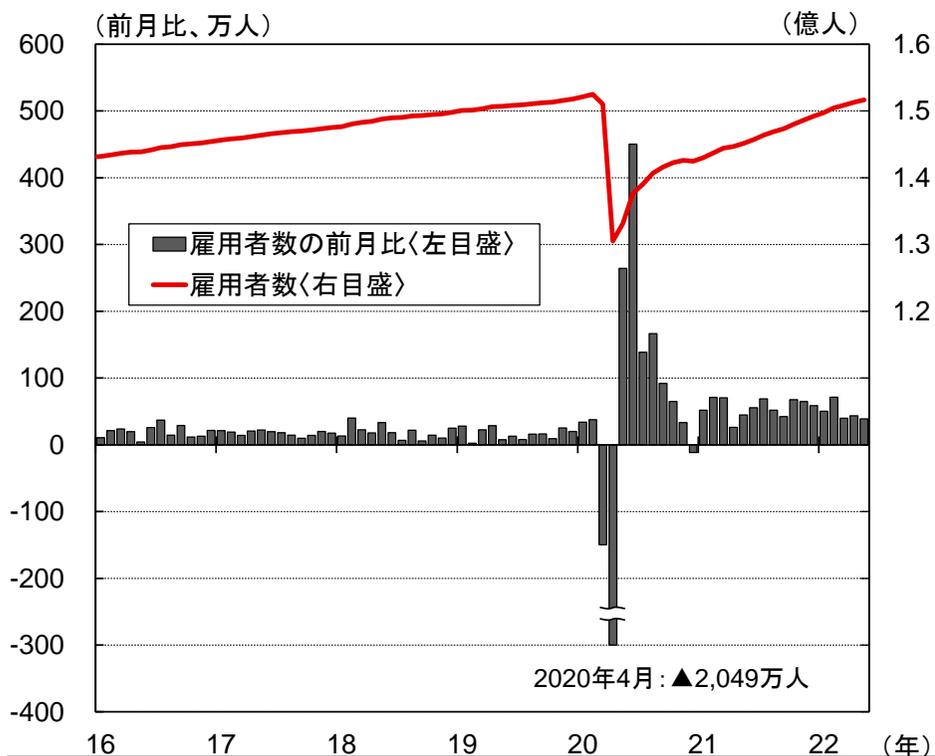


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

3. 雇用

- 5月の非農業部門雇用者数は前月比+39.0万人と4月(同+43.6万人、改定値)に続いて堅調な伸び。業種別にみると、「レジャー・飲食・宿泊」(同+8.4万人)、「専門・ビジネスサービス」(同+7.5万人)、「輸送・倉庫」(同+4.7万人)など幅広い業種で増加。非農業部門雇用者数の水準はパンデミック前(2020年2月)に対して▲82.2万人(▲0.5%)。
- 5月の失業率は3.6%と前月から不変。失業者数は595万人(前月比+0.9万人)。労働参加率は62.3%(前月比+0.1%ポイント)と小幅上昇。時間当たり平均賃金(民間部門)は前年比+5.2%と前月(同+5.5%)から鈍化。
- 4月の求人件数は1,140.0万件(前月比▲45.5万件)と3カ月ぶりに減少。10カ月連続で1,000万件を上回り、失業者数を大きく上回るなど、労働需給の逼迫が継続。

非農業部門雇用者数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

時間当たり平均賃金・求人件数・失業者数の推移

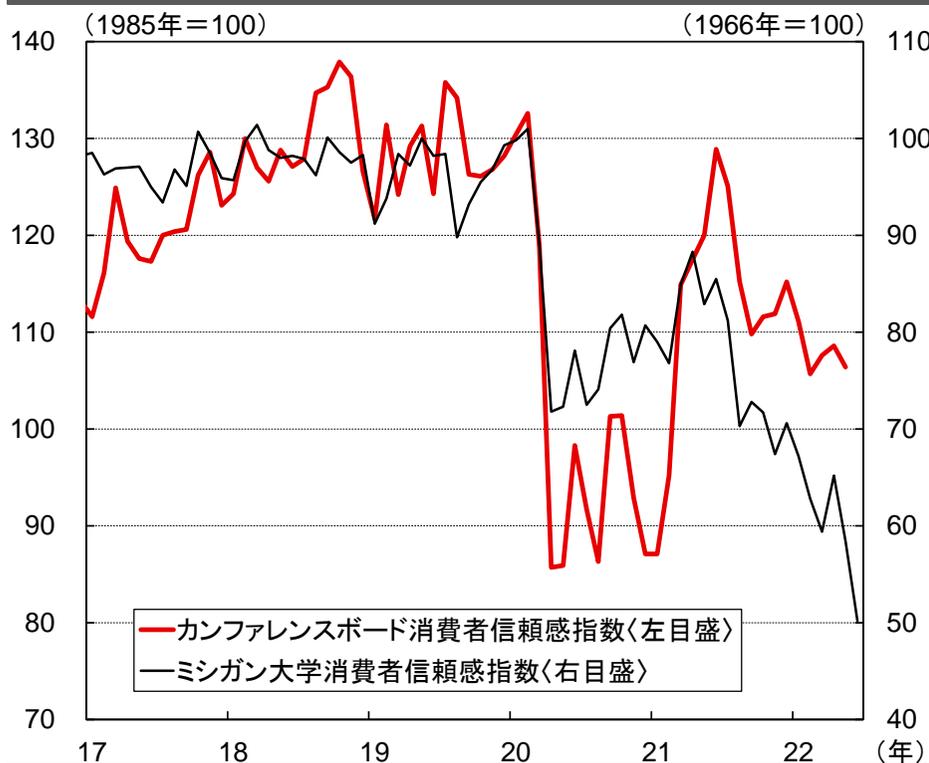


(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

4. 個人消費

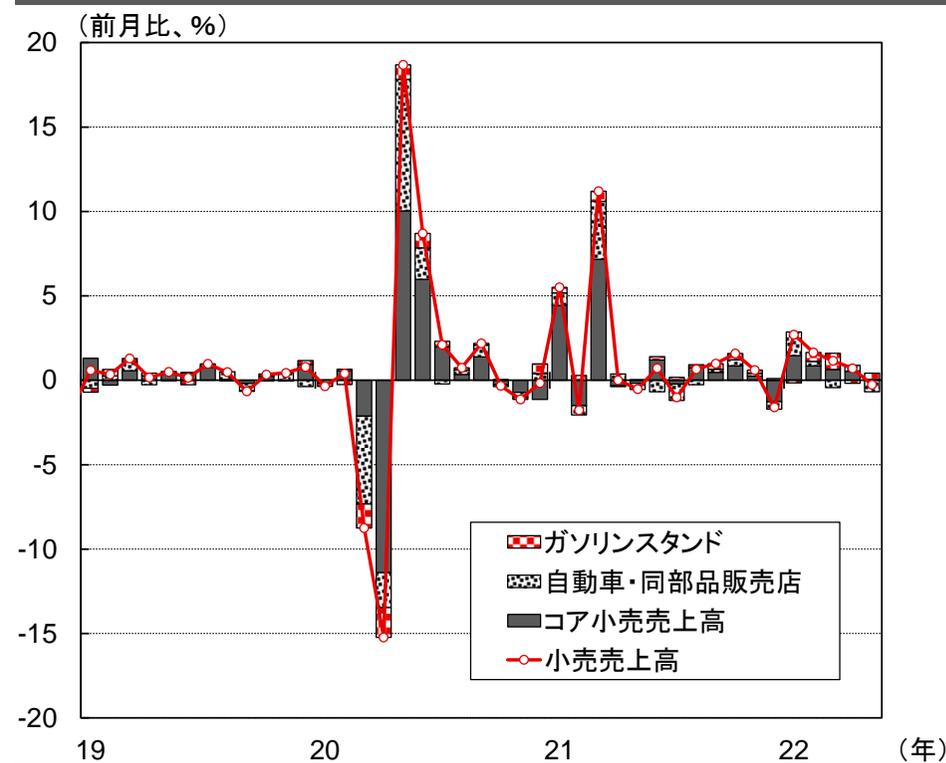
- 5月のカンファレンスボード消費者信頼感指数は106.4(前月比▲2.2)と3ヵ月ぶりに低下。現況指数は149.6(同▲3.3)、期待指数は77.5(同▲1.5)といずれも低下。また、6月のミシガン大学消費者信頼感指数(速報値)は50.2(同▲8.2)と調査開始以来最低を記録。現況指数は55.4(同▲7.9)、期待指数は46.8(同▲8.4)と、いずれも急低下。ガソリン価格が過去最高値を更新するなか、インフレ懸念が一段と上昇。
- 5月の小売売上高は前月比▲0.3%と5ヵ月ぶりに減少(4月:同+0.7%、改定値)。業種別にみると、「ガソリンスタンド」(同+4.0%)、「食料・飲料品店」(同+1.2%)は価格上昇の影響もあり増加した一方、「自動車・同部品販売店」(同▲3.5%)、「電機・家電販売店」(同▲1.3%)、「無店舗小売業」(同▲1.0%)などが減少。変動の大きい「自動車・同部品販売店」と「ガソリンスタンド」を除いたコア小売売上高も同+0.1%と伸びが大きく鈍化(4月:同+0.8%、改定値)。

消費者信頼感指数の推移



(資料)カンファレンスボード、ミシガン大学統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

小売売上高の推移

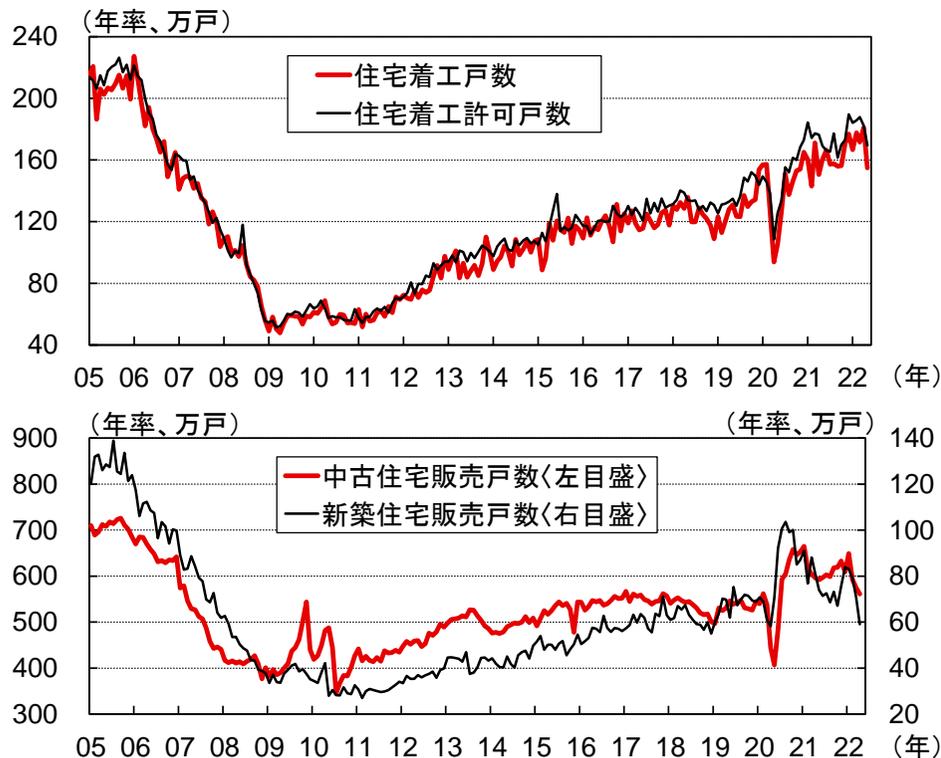


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

5. 住宅(1)

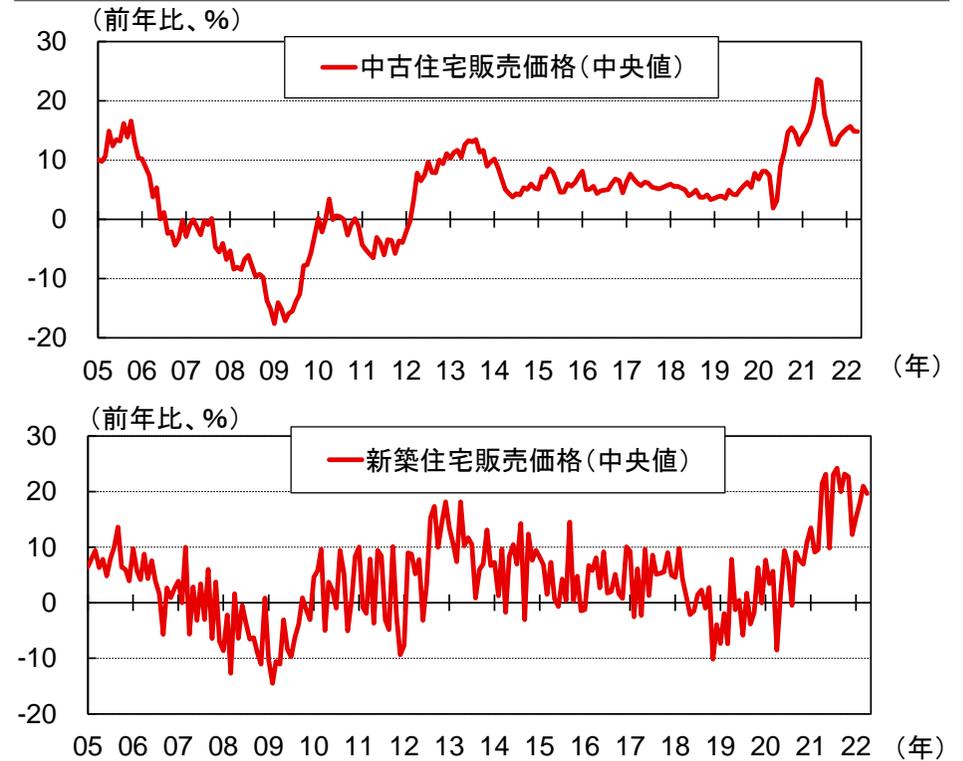
- 5月の住宅着工戸数は前月比▲14.4%の年率154.9万戸(季節調整済)と大幅に減少。内訳をみると、一戸建住宅が同▲9.2%、変動の大きい集合住宅(2世帯以上)は同▲23.7%と夫々減少。先行指標である住宅着工許可戸数も同▲7.0%の年率169.5万戸(季節調整済)と大幅に減少。
- 4月の住宅販売戸数は、中古住宅が前月比▲2.4%の年率561.0万戸(季節調整済)と3ヵ月連続で減少し、2020年6月以来の低水準、新築住宅は同▲16.6%の年率59.1万戸(季節調整済)と4ヵ月連続で大幅に減少し、2020年4月以来の低水準。住宅ローン金利の急上昇が需要を下押し。
- 住宅販売価格は中古住宅が391,200ドル(中央値)、前年比+14.8%(3月:同+14.9%)、新築住宅は450,600ドル(中央値)、同+19.6%(3月:同+21.0%)と前月から伸びが鈍化。

住宅着工戸数・着工許可戸数・住宅販売戸数の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅販売価格の推移

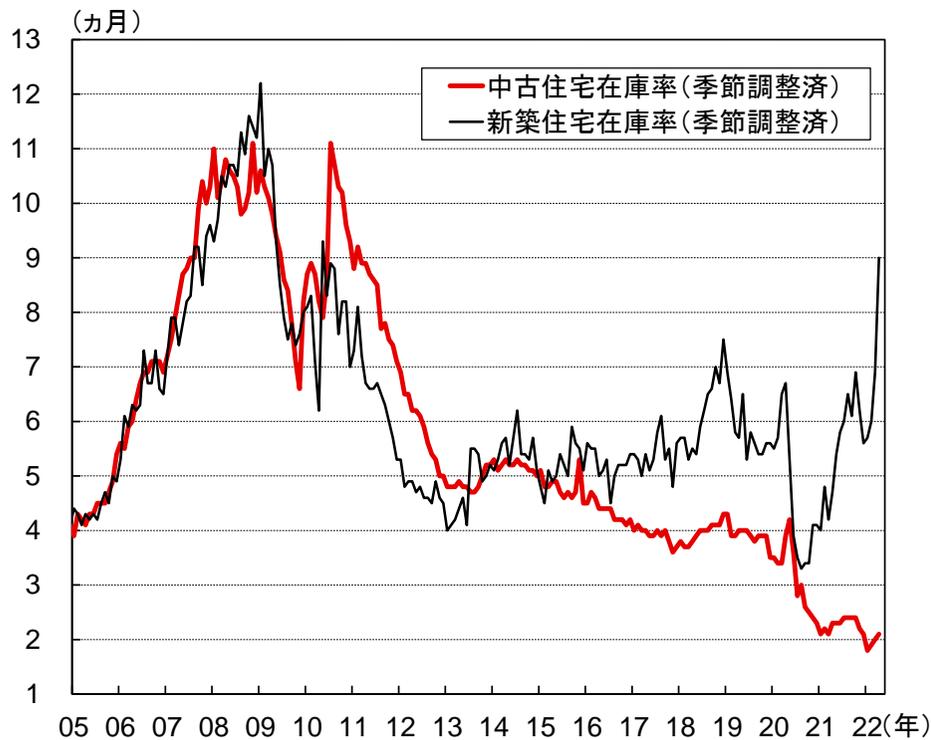


(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

5. 住宅(2)

- 4月の在庫率は中古住宅が2.1ヵ月(季節調整済)と前月(2.0ヵ月)から小幅上昇、新築住宅は9.0ヵ月(季節調整済)と、住宅販売戸数の大幅減少を受けて前月(6.9ヵ月)から急上昇。
- 家計の所得、住宅価格、住宅ローン金利から算出される住宅取得能力指数は、4月に109.2(前月比▲15.0)と、2007年8月以来の水準へ低下。

住宅在庫率の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅取得能力指数の推移



(資料) 全米不動産業協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

6. 物価

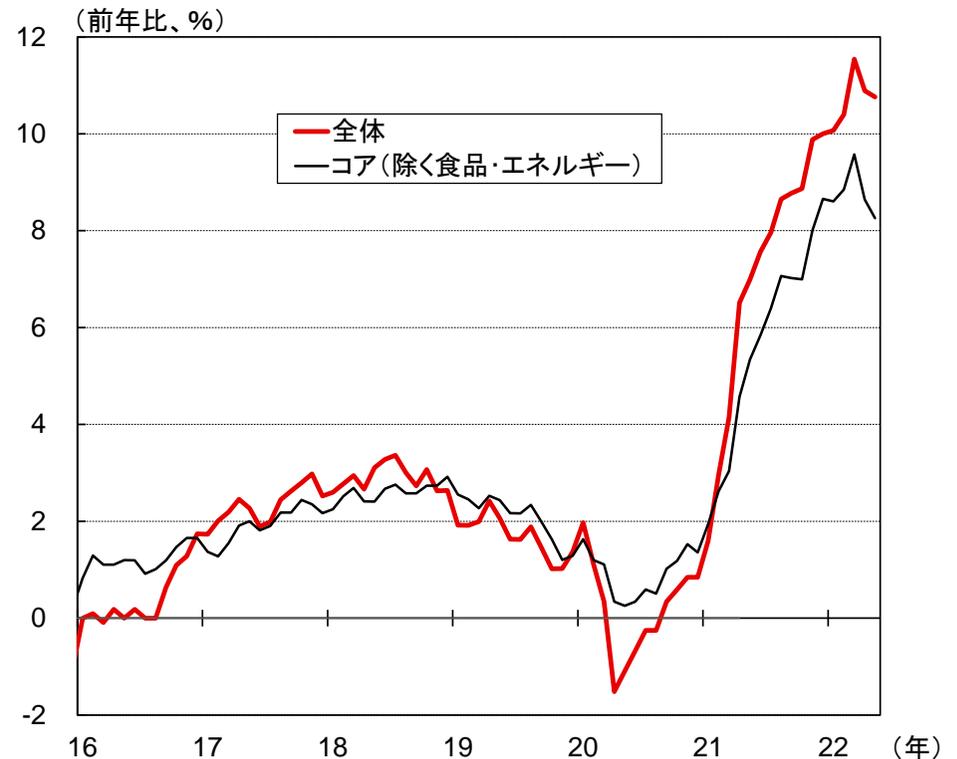
- 5月の消費者物価指数は前年比+8.6%（4月：同+8.3%）と再び加速し、1981年12月以来の高い伸びを記録。エネルギー（前年比+34.6%）、食品（同+10.1%）、家賃（同+5.5%）等の上昇幅が拡大。一方、食品とエネルギーを除いたコア消費者物価指数は前年比+6.0%（4月：同+6.2%）と2ヵ月連続で伸びが鈍化。
- 5月の生産者物価指数は前年比+10.8%（4月：同+10.9%）、食品とエネルギーを除いたコア生産者物価指数は同+8.3%（4月：同+8.6%）と伸びが夫々鈍化。内訳をみると、「財」（同+16.6%）は伸びが加速した一方、サービス（同+7.6%）は伸びが鈍化。

消費者物価指数の推移



(資料) 米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

生産者物価指数の推移



(資料) 米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

7. 国際収支

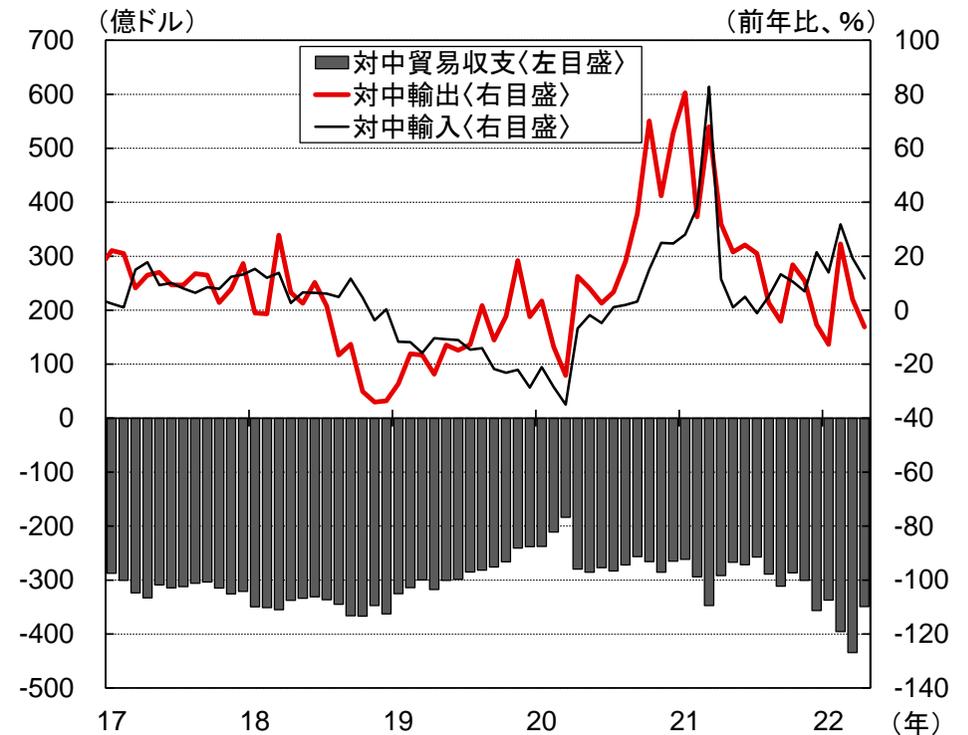
- 4月の貿易収支(財・サービス)は871億ドルの赤字となり、赤字幅は前月比▲19.1%(同▲206億ドル)と大幅に縮小。輸出は同+3.5%と増加した一方、輸入は同▲3.4%と減少。前年比でみると輸出は+21.7%、輸入は+24.3%。
- 財の貿易収支を国・地域別にみると、米国の貿易赤字(財)の3分の1程度を占める中国との貿易赤字は4月に349億ドルとなり、赤字幅は前月比▲19.6%(同▲85億ドル)と縮小。対中輸出(財)は同▲11.6%、対中輸入(財)は同▲17.7%と夫々減少。前年比でみると、対中輸出(財)は▲6.2%、対中輸入(財)は同+11.8%。

貿易収支と輸出入(財・サービス)の推移



(注)国際収支ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。
(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

対中貿易収支と対中輸出入(財)の推移



(注)通関ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。
(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

8. 金融市場動向

- 10年物国債利回りは、6月10日に公表された5月の消費者物価上昇率が再加速し、インフレがピークアウトするとの期待が後退したことから、FRBの利上げが加速するとの見方が強まり、一時3.4%台まで上昇。
- ダウ平均株価は、6月15日のFOMCで0.75%ポイントの利上げが決定される等、利上げ加速に伴う景気後退懸念の高まりから大幅に下落。

10年物国債利回りの推移



(資料) Macrobondより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ダウ平均株価の推移



(資料) Macrobondより三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表: 主要月次経済指標の推移①

主要月次経済指標の推移

		21年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月	4月	5月	6月
企業活動・生産	ISM 製造業指数	61.6	60.9	59.9	59.7	60.5	60.8	60.6	58.8	57.6	58.6	57.1	55.4	56.1	-
	ISMサービス業指数	63.2	60.7	64.1	62.3	62.6	66.7	68.4	62.3	59.9	56.5	58.3	57.1	55.9	-
	鉱工業生産指数(2012年平均=100)	99.9	100.5	101.2	101.1	99.9	101.3	102.0	101.7	102.5	103.6	104.1	105.5	105.7	-
	前月比(%)	0.7	0.5	0.7	-0.1	-1.2	1.4	0.7	-0.2	0.8	1.0	0.5	1.4	0.2	-
	設備稼働率(%)	75.3	75.7	76.2	76.1	75.1	76.1	76.6	76.4	76.9	77.6	77.9	78.9	79.0	-
	製造業受注(億ドル)	4,767	4,862	4,877	4,934	4,919	5,009	5,063	5,088	5,205	5,221	5,314	5,332	-	-
	前月比(%)	1.9	2.0	0.3	1.2	▲0.3	1.8	1.1	0.5	2.3	0.3	1.8	0.3	-	-
	うち耐久財受注(億ドル)	2,415	2,458	2,467	2,506	2,468	2,505	2,541	2,565	2,644	2,625	2,643	2,655	-	-
	前月比(%)	2.1	1.8	0.4	1.6	▲1.5	1.5	1.4	0.9	3.1	▲0.7	0.7	0.5	-	-
雇用・個人消費	非農業部門雇用者数(前月比、万人)	44.7	55.7	68.9	51.7	42.4	67.7	64.7	58.8	50.4	71.4	39.8	43.6	39.0	-
	時間当たり平均賃金(ドル)	30.36	30.52	30.67	30.76	30.92	31.11	31.23	31.38	31.56	31.60	31.75	31.85	31.95	-
	前年比(%)	2.2	4.0	4.3	4.3	4.8	5.4	5.3	4.9	5.4	5.2	5.6	5.5	5.2	-
	失業率(%)	5.8	5.9	5.4	5.2	4.7	4.6	4.2	3.9	4.0	3.8	3.6	3.6	3.6	-
	個人所得(年率、億ドル)	205,147	205,705	208,353	209,163	207,198	208,849	210,250	211,201	211,309	212,635	213,804	214,698	-	-
	前月比(%)	▲2.0	0.3	1.3	0.4	▲0.9	0.8	0.7	0.5	0.1	0.6	0.5	0.4	-	-
	個人消費(年率、億ドル)	156,244	158,020	158,149	159,911	160,889	163,095	163,909	162,423	165,756	166,767	169,070	170,593	-	-
	前月比(%)	0.0	1.1	0.1	1.1	0.6	1.4	0.5	-0.9	2.1	0.6	1.4	0.9	-	-
	貯蓄率(%)	10.4	9.5	10.5	9.8	8.1	7.5	7.6	8.7	6.0	5.9	5.0	4.4	-	-
	小売売上高(億ドル)	6,225	6,270	6,206	6,247	6,309	6,409	6,447	6,344	6,516	6,623	6,700	6,747	6,729	-
	前月比(%)	▲0.5	0.7	▲1.0	0.7	1.0	1.6	0.6	▲1.6	2.7	1.7	1.2	0.7	▲0.3	-
	自動車販売台数(年率、万台)	1,689	1,547	1,466	1,309	1,229	1,305	1,304	1,254	1,505	1,398	1,341	1,450	1,268	-
	前月比(%)	▲7.7	▲8.4	▲5.2	▲10.8	▲6.1	6.2	▲0.1	▲3.8	20.0	▲7.1	▲4.0	8.1	▲12.6	-
カンファレンスボード消費者信頼感指数	120.0	128.9	125.1	115.2	109.8	111.6	111.9	115.2	111.1	105.7	107.6	108.6	106.4	-	
ミシガン大学消費者信頼感指数	82.9	85.5	81.2	70.3	72.8	71.7	67.4	70.6	67.2	62.8	59.4	65.2	58.4	50.2	

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表: 主要月次経済指標の推移②

主要月次経済指標の推移															
		21年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月	4月	5月	6月
住宅	住宅着工戸数(年率、万戸)	161	166	157	158	156	156	171	177	178	178	172	181	155	-
	前月比(%)	6.6	3.7	▲5.5	0.2	▲1.1	0.3	9.1	3.6	▲5.8	6.7	▲3.4	5.5	▲14.4	-
	中古住宅販売戸数(年率、万戸)	592	597	603	599	618	619	633	609	649	593	575	561	-	-
	前月比(%)	▲0.7	0.8	1.0	▲0.7	3.2	0.2	2.3	▲3.8	6.6	▲8.6	▲3.0	▲2.4	-	-
物価	新築住宅販売戸数(年率、万戸)	74	71	73	69	73	67	76	84	83	79	71	59	-	-
	前月比(%)	▲8.5	▲3.5	1.7	▲5.5	6.7	▲8.3	12.7	11.0	▲1.0	▲4.7	▲10.5	▲16.6	-	-
	消費者物価指数(1982~84年=100)	269.2	271.7	273.0	273.6	274.3	276.6	277.9	278.8	281.1	283.7	287.5	289.1	292.3	-
	前月比(%)	0.7	0.9	0.5	0.3	0.4	0.9	0.7	0.6	0.6	0.8	1.2	0.3	1.0	-
国際収支	前年比(%)	5.0	5.4	5.4	5.3	5.4	6.2	6.8	7.0	7.5	7.9	8.5	8.3	8.6	-
	生産者物価指数(2009年11月=100)	125.5	126.6	127.8	128.8	129.1	130.1	131.1	131.3	133.1	134.6	137.2	137.8	139.0	-
	前月比(%)	1.0	0.8	0.9	0.9	0.5	0.7	1.0	0.6	1.2	1.1	1.6	0.4	0.8	-
	前年比(%)	7.0	7.6	8.0	8.7	8.8	8.9	9.9	10.0	10.1	10.4	11.5	10.9	10.8	-
輸出(財、億ドル)	輸出(財、億ドル)	1,453	1,463	1,479	1,495	1,445	1,576	1,565	1,594	1,569	1,605	1,700	1,761	-	-
	輸入(財、億ドル)	2,334	2,382	2,356	2,382	2,406	2,439	2,548	2,599	2,653	2,675	2,969	2,838	-	-
	貿易収支(財、億ドル)	▲880	▲919	▲877	▲887	▲962	▲862	▲983	▲1,005	▲1,084	▲1,070	▲1,268	▲1,077	-	-
	貿易収支(財・サービス、億ドル)	▲666	▲714	▲694	▲714	▲783	▲682	▲780	▲789	▲880	▲881	▲1,077	▲871	-	-

(注)『消費者物価指数』とその『前年比』、『生産者物価指数』とその『前年比』は季節調整前。

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名 : 株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室(ニューヨーク)
1251 Avenue of the Americas, New York, NY 10020, USA

照会先 : 岡田 知恵 e-mail : cokada-wighe@us.mufg.jp